

# 立命館大学における事業承継教育

立命館大学 経営学部  
教授 久保田典男

# 1 立命館大学経営学部産官学連携事業継承教育プログラムの概要

- ・2018年大阪府中小企業家同友会との連携協定締結を契機に設置された課外教育である「事業継承塾」を起源
- ・2022年度以降事業継承塾の活動を、特別教育プログラム「インテンシブプログラム」の一つとして正規科目と連動する形で教育プログラムとして発展

図表1 立命館大学経営学部「産官学連携事業継承教育プログラム」の概要



将来、親族の事業を継承し発展を志す有為な人材や中小企業支援に関心ある人材（中小企業をサポートする金融機関への就職志望や地域の中小企業振興を目指す公務員など）を育成

- 【プログラム修了要件】
- ・プログラム特殊講義「事業継承概論」を必修
  - ・他の科目より2科目を単位修得

## 立命館大学課外教育プログラム「事業継承塾」と連動

中小企業課題コンテスト

自分史コンテスト

社史作りコンテスト

春学期・秋学期講演会

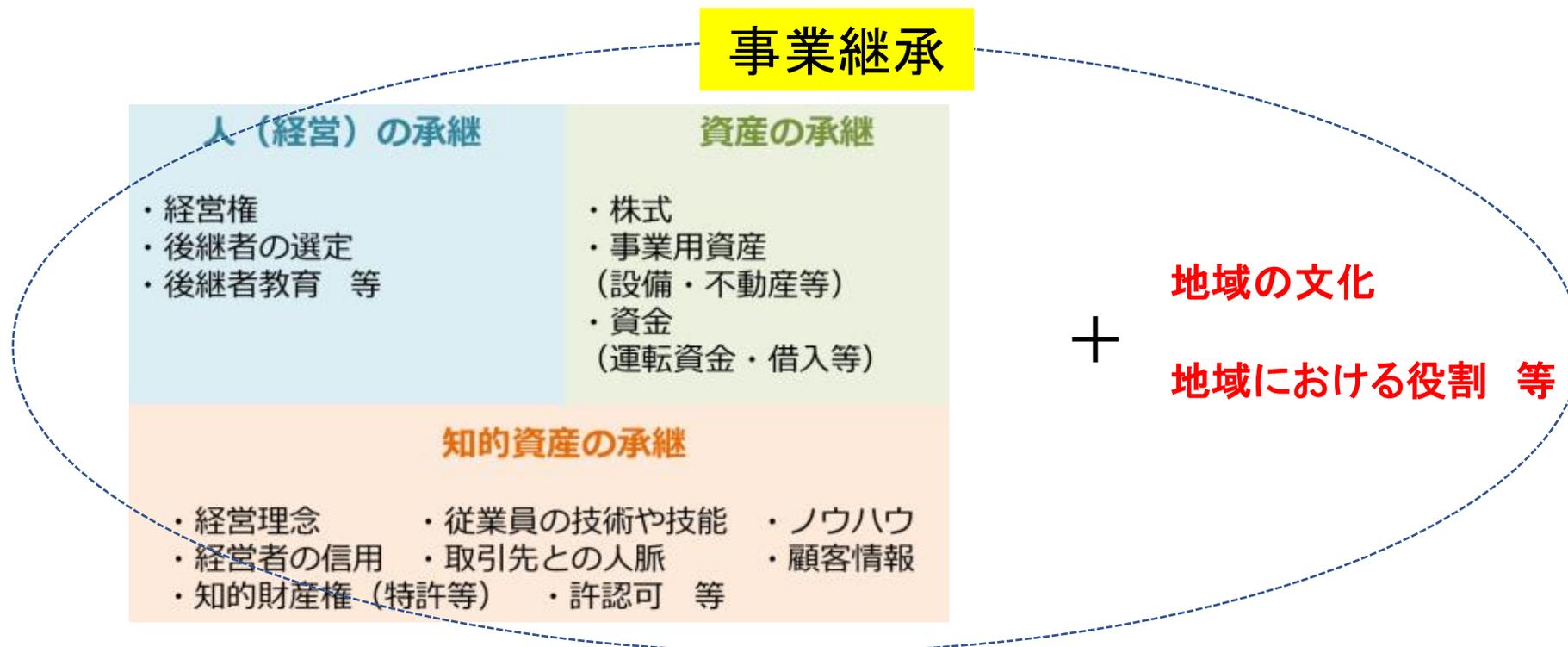
アドバイザリーボード会議

# 1 立命館大学経営学部産官学連携事業継承教育プログラムの概要

## 事業継承と事業承継（立命館大学の考え方）

立命館大学では、地域の文化や地域における役割等の引継ぎなども含めて「継承」という用語を用いており、人（経営）、資産、知的資産などの引継ぎで用いる「承継」という用語と区別

図表2 事業承継の構成要素



（出所）中小企業庁（2022）「事業承継ガイドラン（第3版）」から加筆

## 2 事業継承教育プログラムの内容 (1)正課 ①プログラム特殊講義「事業継承概論」

- ・産官学連携事業継承教育プログラム修了要件の必修科目として「事業継承概論」が2023年度春学期より開講
- ・基礎知識習得に加え、事業継承を契機とした第二創業を遂行するための経営計画策定をゴールに設定

図表3 プログラム特殊講義「事業継承概論」の授業スケジュール(2025年度)

- 第1回 事業継承の重要性
- 第2回 事業継承とはどのようなものか
- 第3回 事業継承の進め方
- 第4回 事業継承の課題
- 第5回 第二創業に向けた経営計画策定①: 経営理念の確立
- 第6回 第二創業に向けた経営計画策定②: 事業の方向性の決定
- 第7回 第二創業に向けた経営計画策定③: マーケティング計画とマネジメント計画
- 第8回 第二創業に向けた経営計画策定④: 財務計画と財務管理
- 第9回 後継経営者による能力形成に必要な要素
- 第10回 後継者の能力形成と先代経営者
- 第11回 後継経営者による組織マネジメント
- 第12回 地域金融機関等における事業承継支援
- 第13回 専門支援機関等による事業承継支援
- 第14回 事業継承概論総括

(出所)立命館大学「オンラインシラバス」に基づき作成

## 2 事業継承教育プログラムの内容 (1) 正課 ①プログラム特殊講義「事業継承概論」

### ●プログラム特殊講義「事業継承概論」受講生(2024年度)に実施したアンケート結果

実施時期:2024年7月、回答数:立命館大学経営学部生:89人(2回生61人、3回生28人)、回収率81.7%(受講生109人)

#### 【主な回答(抜粋)】

#### ・親またはその他親族が事業を営んでいるか？

親が事業を営んでいる:21人(23.6%)、親以外の親族が事業を営んでいる:18人(20.2%)、親族は事業を営んでいない:54人(60.7%)

⇒親が事業を営んでいる割合は約2割、約6割は親族が事業を営んでいない。

#### ・本講義を受講する前に、行政、教育機関(大学、高校等)等で事業継承について学ぶ機会があったか？

はい:2人(2.2%)、いいえ:87人(97.8%)

⇒本講義受講前に行政、教育機関(大学、高校等)等で事業継承について学ぶ機会はほとんどない。

#### ・講義受講前と比べて事業継承に関する関心が高まったか？

「非常に高まった:25人(28.4%)」、「やや高まった:60人(68.2%)」、「どちらともいえない:2人(2.3%)」

「あまり高まらなかった:1人」、「全く高まらなかった:0人」

⇒全体の約97%が事業継承に関する関心が「高まった」と回答

#### ・あなたは、将来事業継承を試みたいと思うか？

「強く思う:6人(6.8%)」、「やや思う:29人(33.0%)」、「どちらともいえない26人(29.5%)」

「あまり思わない:25人(28.4%)」、「全く思わない:2人(2.3%)」

⇒全体の約4割が事業継承に関する意向を示す。

※親族が事業を営んでいない学生のうち事業継承に関する意向を示す学生の割合も3割を超える。

## 2 事業継承教育プログラムの内容 (1)正課 ②プログラム特殊講義「事業継承経営」

- ・2018年の大阪府中小企業家同友会との連携協定締結を契機に開講
- ・2024年度より授業時間中に大学のシステムを用いて受講生より集約した質問をゲスト講師と共有  
⇒多くの経営者が翌週までに全ての質問に対して回答を送付⇒その回答内容を受講生と共有
- ・2024年度よりゲスト講義に関する小レポートを毎回受講生に課し、その内容をゲスト講師と共有  
⇒経営者と受講生の双方の学びにつなげていく

図表4 プログラム特殊講義「事業継承経営」の2024年度授業スケジュール(ゲスト講義部分)

- 第2回 地域創生から生まれた「中小企業のタイ進出」:理化工業(株) 代表取締役 森嶋勲 氏
- 第3回 「板金加工の専門家集団」への取組み : (株)仁張工作所 取締役会長 仁張正之 氏
- 第4回 社風を変えた社員一丸体制は5S活動から始まった : (株)山田製作所 代表取締役会長 山田茂 氏
- 第5回 自社経営を通してめざすもの : (株)シンエイ 代表取締役 鐘森雅之 氏
- 第6回 女性だって未来を切り開く力はある～人を生かす経営で社会貢献 : (株)シージェイエル 代表取締役 中本久美 氏
- 第7回 地域を育み、人を育てる : (株)坂口製作所 代表取締役 坂口清信 氏
- 第8回 会計事務所は社会のインフラ～長田会計事務所の歩む道 : 長田会計事務所 税理士 長田雅子 氏
- 第9回 化成品ビジネスのMOT～脱下請からオリジナル商品・サービスへの挑戦:旭電機化成(株)専務取締役 原守男 氏
- 第10回 社員と共に企業創りを : 川田紙工株式会社 代表取締役 川田昭宏 氏
- 第11回 自社経営を通して目指すもの:中村タイル(株) 代表取締役 中村祐幸 氏
- 第12回 10年後も元気な会社でいられるために:(株)ぜんGIFT ENTERPRISE 代表取締役 寺本智恵子 氏
- 第13回 学びと実践から得たさらなる挑戦! :NPO法人発達障害サポートセンターピュア 理事長 檜尾めぐみ 氏
- 第14回 自立的で質の高い想像力豊かな企業とは? : (株)柳田製作所 代表取締役社長 柳田大介 氏

(出所)立命館大学「オンラインシラバス」に基づき作成

## 2 事業継承教育プログラムの内容 (1)正課 ③プロジェクト研究「社史コンテスト」

- ・「事業継承塾」において毎年秋学期に実施する「社史コンテスト」と連動した授業科目  
→学生は「社史コンテスト」に参加することを前提として履修
- ・2024年度は21人の学生が参加し、担当教員が5社の社史作成を教員がサポート、  
受講生には①対象企業の存続要因、  
②対象企業の今後の存続に向けた課題及び解決策という2つの「問い」を提示
- ・2025年1月10日に各チームが作成した社史に基づく最終発表会を実施
- ・受賞作品集は毎年印刷し、関係者に配布

図表5 プロジェクト研究(産学共創型)「社史コンテスト」の2024年度授業スケジュール

第1回	イントロダクション
第2回	成果物(社史:企業の事例研究論文)の書き方
第3回	研究方法の説明、研究計画の作成
第4回～第5回	テーマと問題意識の確認
第6回～第7回	社史の構成と枠組みの確認
第8回	中間発表会
第9回～第13回	社史完成に向けた作業
第14回	最終成果の確認
第15回	社史最終発表会(社史コンテスト)

図表6 2024年度受賞作品集の表紙



## 2 事業継承教育プログラムの内容

### (2) 事業継承塾 ①「講演会」

- ・2024年度は、春学期2回、秋学期2回の計4回、後継者による講演会(対面のみで)開催
- ・4回のうち2回は農林水産業関連の事業承継のケースを組み込む→学生が多様な事業継承を知る機会につながる。
- ・講演会での交流を契機に各種コンテストでの調査やゼミ活動での調査につながるケースあり
- ・春学期開催の2回の講演会の録画配信を「事業継承概論」受講生に実施し課題レポートを提出→正課との接続
- ・講演会実施後の振り返り及びその内容のウェブサイトでの情報発信を強化

図表7 2024年度事業継承塾講演会の案内

春学期1回目

2024年度 立命館大学 事業継承塾 春学期講演会 第1回

創造か破壊か、デザインとアートのかで老舗電話工事会社を変革 - アトツギベンチャー型事業承継 -

2024年5月30日(木)  
10時40分～12時10分  
会場：カンファレンスホール (B棟1階)



under design

アンダーデザイン株式会社 代表取締役社長 川口 竜広氏



- ・ 米国ミシガン大学経営学大学院 (MBA) を卒業。35歳で子会社の社長、37歳で親会社の社長に就任。
- ・ 2018年10月「世界一マジメでユニークなインフラの会社になる」というビジョンを掲げ、第三創業となるリブランディングを実施。2020年9月近畿経済産業局長賞 (第三回学生に教えたい働きがいのある企業大賞) を受賞。
- ・ 事業承継での学びは「引き継がないことを引き継ぐ」。
- ・ 2024年公募制でパーパス策定プロジェクトを立ち上げ、社員と共にMVVPの再定義、長期計画策定に着手。

秋学期1回目

2024年度 立命館大学 事業継承塾 秋学期講演会 第1回

ファミリービジネスとしての、働きがい向上を目指す。  
- 親子3世代でつなぐバトン -

2024年10月31日(木)  
10時40分～12時10分  
教室：H棟323室



ブラシで世界を変えよう  
BURRTEC

株式会社バーテック 代表取締役社長 末松 仁彦氏



- ・ 1981年生まれ。関西学院大卒。2004年バーテック入社後、2008年27歳で3代目代表取締役に就任。
- ・ 防虫対策用ブラシは、国内トップシェアを獲得しており、アメリカでも事業展開を進めている。
- ・ データセンター業界向けには省エネに役立つ商品を販売。ブラシを通じ、社会問題への解決に貢献している。
- ・ 社内の働きがいの向上にも長年取り組んでおり、外部機関調査にて、7年連続働きがいのある会社の認定を受けている。2024年度は、小規模部門4位にランクイン。社外にも働きがい向上について積極的に発信をしている。

春学期2回目

2024年度 立命館大学 事業継承塾 春学期講演会 第2回

魚屋の後継経営者から見た企業論  
- 鮮魚ビジネスは革新できる -

2024年6月20日(木)  
10時40分～  
教室：AS358



魚を楽しむ生活を提案する  
東信水産

東信水産株式会社 代表取締役社長 織茂 信尋氏



- ・ 1949年から続く東京の老舗鮮魚店である東信水産の3代目として、時代の変化に合わせた新たな鮮魚ビジネスに挑戦中。
- ・ 大学院で理系の研究者として化学を研究、その後は大手商社でルウエー駐在。
- ・ 現在は大学の研究者と社長業の2足の草鞋。
- ・ ファミリー企業を承継するにあたっての心得とは。

秋学期2回目

2024年度 立命館大学 事業継承塾 秋学期講演会 第2回

伝統農法の次世代への継承  
- 三島独活農家千提寺farm.の挑戦 -

2024年11月14日(木)  
10時40分～  
教室：AC348



みしまうど  
三島独活 独りじゃ、活きられへん  
大阪・千提寺farm.



千提寺farm. 中井優紀氏



- ・ 江戸時代から作られてきた大阪・茨木の伝統野菜である三島独活(うど)を最後の1人となった農家から継承。
- ・ 古民家生活に憧れていたサラリーマン夫婦はどうして脱サラして農業を始めることになったのか。
- ・ 伝統農業をそのまま引き継ぐと課題も引き継がれる、、、何を継承し何を変えるべきか。

## 2 事業継承教育プログラムの内容 (2)事業継承塾 ②「中小企業課題解決コンテスト」

- ・2024年度は長岡京市商工会・長岡京市の協力を得て、同市内企業を対象として実施  
テーマ:「中小企業のSNS活用による経営改善の取り組み」に焦点
- ・参加企業8社を2023年度末に選定し、2024年度開始直後にキックオフミーティング開始
- ・2024年9月28日(土)に長岡京市産業文化会館において最終報告会を実施

### 【2024年度の主なスケジュール】

- |            |   |
|------------|---|
| 2024年3月    | 長岡京市商工会経由で参加企業募集→企業選定                     |
| 2024年4月18日 | キックオフミーティング、参加学生と参加企業の顔合わせ(場所:長岡京市産業文化会館) |
| 2023年7月    | 中間報告会(場所:大学キャンパス内)                        |
| 2024年9月28日 | 最終報告会(各チーム:15分間のプレゼンテーション)                |

図表8 2024年度中小企業課題解決コンテストの様子(2024年9月28日開催)



## 2 事業継承教育プログラムの内容 (2)事業継承塾 ③「自分史コンテスト」

- ・自分史作成を通して、深い自己分析をしてもらうことを狙いとした自分史コンテストを開催
- ・応募者は自分史の表とライフラインチャート図を提出、23年度は11人、24年度は12人が応募
- ・23年度最優秀賞受賞学生は、**家業(中小建設業)との関連で親にヒアリング**を行い自分史を作成

### 【2024年度の主なスケジュール】

- 2024年7月13日 事前説明会
- 2024年8月31日 応募書類提出期限
- 2024年9月28日 表彰式

図表9 2023・2024年度自分史コンテスト表彰式の様子



## 2 事業継承教育プログラムの内容

### (2) 事業継承塾 ④「社史コンテスト」

- ・正課のプロジェクト研究(産学共創型)「社史コンテスト」と連動し社史コンテストを開催
- ・2024年度は37人が応募し、グループごとに8社の社史(うち発表7社)を作成  
→対象企業8社のうち、学生の親族が経営する企業5社、うち1社は留学生の親族が経営する外国企業(中国企業:留学生と日本人学生の混合チーム、最優秀賞受賞)
- ・親族経営企業の該当学生が親族に複数回ヒアリングを実施し、社史のレベルが向上
- ・2025年1月10日に各チームが作成した社史に基づく最終発表会を実施
- ・外部審査員として老舗企業経営者を招聘

図表10 社史コンテスト最終発表会の様子(2025年1月10日開催)

図表11 2024年度最優秀賞(海豚水族有限公司)

